



育生小たより

# わくわくいくぜっ!

～ 思いを聴き合える学校をめざして～

津市立育生小学校

令和4年度 第11号

3月15日(水)

文責：育生小学校長

あつ 2月

めっきり春めいた暖かい日が増えてきました。それとともに、いよいよ卒業式です。6年生の教室にあるカウントダウンカレンダーが日に日に減っていくのを見るにつけ、しみりとしてくる寂しさと、幸多かれと願う気持ちが交錯する最近の日々でした。ずうっとこんな調子なので、卒業式当日、泣いちゃうような気がしています。以上(笑)に6年生の担任団も感極まりつつあるのですが、なんせ超々多忙(卒業式に向けての準備・練習、成績、子どもたち一人ひとりに丁寧に向き合う時間の確保 etc.)というのが現実で、気が張りつめた状態だと思われま。式が終わったと同時に感涙にむせぶのではないのでしょうか。子どもたちも、先生たちも、気持ちを一つにしてがんばろう! みなさま、応援よろしくお願ひ致します。

ありがとう♡だいすき  
だよ♡

## 6年生を送る会



5年生がリーダーシップを発揮して、企画・運営を進めてきました。5年生の頑張りど、それを見て一生懸命協力する1～4年生。そこには、在校生が一致団結して、6年生を楽しませたいという感謝の気持ちが強く込められていました。

一方、昨年の自分たちの経験から、5年生が運営しやすいようにさりげなくサポートする6年生。下級生のリクエストに応えたり、下級生を喜ばせる出し物をやり遂げたり、思いやりが随所にあふれていました。

2月24日(金)に開催されたのですが、感染予防の観点から、体育館に入るのは主賓の6年生と運営の5年生、そして出し物をする学年のみという形にしました。出し物をしない時間帯は、自分たちの教室で該当学年の動画を見るという方法をとりま。会場でのナマの交流を体験できるのが1番なのですが、卒業式を控えているだけに、念には念を入れての対応が必要と判断しました。最後の6年生の出し物とみんなで1曲歌うところだけ、全員が集まりました。最終の決断をするということは、本当に重たいです。「みんなの気持ちはよくわかるし、自分だってそうしたい」「でもなあ・・・」自問自答の繰り返しです。これから、コロナ禍以前の生活に戻る流れになっていくわけですが、状況判断をしっかりとおこなっていきたいと思っています!

みんなの力を結集させた卒業生を送る会ですから、感動的という表現がぴったりの本当に素晴らしい会となりました。在校生からのメッセージを紹介しま。すね。

「やさしくて、おもしろくて、かっこいい6年生!」

「大好きだよ♡」「ありがとう♡」「中学校でも、輝いてくださいね!」

「次は、私たちが引き継ぎます!」

こんなステキな言葉を引き出してくれた頼もしい6年生に感謝です!



笑いのエッセンスがたっぷり!  
6年生の魅力の集大成でした!

うんうん  
へーっ!!

ふるほど!!

## 6年生のすごいところ3連発!

わっはっは!!

### 【人の話を聴く姿勢】

たとえば、(笑)が話す場面。しっかりと私の顔を見て、うなずいたり、呼びかけには返事したり、こういった姿勢がごく自然と出るんですね。

「聞いてもらっている」という一体感が伝わってきて、すごく話しやすいのです。

人の話を聴くということは「情報を得ること」に加え、「信頼関係を作っていく」うえで、とっても大切なことなんですね。

### 【自分の意見を述べる】

人の話を聴いたら、そのことに対する自分の考えを返すということが定着しています。批判じゃなく、相手の考えを受け入れた上で自分の意見を述べるのですから、本当にすごいです。また、文章で表現するという点でも、力をつけたと思います。こういった力は、授業や生活の中で、ことあるごとに指示されるペア学習やプレゼンで鍛えられ、努力した賜物だと思います。

### 【ユーモアを取り込む】

場をなごませることで、聞き手をこちらに引き付けるということを身につけたように思います。下ネタや他人を見下げるような笑いではなく、話の流れの中に発想を豊かにしたちよとした笑いを組み込んでいるのがステキなところ。そこには、「物事の構成力」と「相手のことを想像する力」が求められることになり、それらを実践していることになりま。すごいです!



【『卒業式で話そうと思っていたけど、時間の都合上、あきらめざるをえなかった話』】

～ 自分らしく & 普通の意味～

私は、今年も含めて5年間、校長先生というお仕事をしています。みんなも知っているように、鬼さんになるなど“かぶりもん”が大好きで、下手なのにみんなの前でリコーダーを吹いたり、学校たよりに絵やクイズを書いてみたり、カメラを持って歩き回っていたり、最初のうちは「普通の校長先生と違う。いいの?」とよく言われました。確かに世間の抱く校長先生のイメージとは離れていると思います。でも、これが(笑)なんですね。自分の得意なところで人とつながりたい、長所を生かしてメッセージを伝えたい、子どもたちに笑顔とポジティブな考え方を広めたい、そんな信念をもって行動しています。最初は不安で恥ずかしさもありましたが、案外、それが(笑)の普通だと定着していくんですね。そうなるに『普通』って何なんだろう? その人の経験や見聞きした情報で左右される価値観ということになるのなら、『普通=みんな同じ』は成り立たず、「普通じゃないよね」という批判は信憑性がないということになります。(笑)話がややこしくなっちゃった)得意・不得意をひっくるめて自分を大切に受け止め、自分らしく進んでいってください!

### 【読み聞かせ～ありがとう～】

お子さんの卒業に伴って、2名の方が図書ボランティアをご卒業されました。ステキな絵本の世界へ子どもたちをいざない、豊かな心を育てていただきました。心より、感謝申し上げます!



楽しいです!!  
図書ボランティアさん、募ってます!



### 【駐車場が少し広くなりました】

駐車場に入った所の左側にあったシュロの木と大きな石を撤去してもらいました。殺風景になってしまいましたが、出入りのしにくさの解消のためには仕方ありませんでした。これで車の対向が楽になり、1台分ですが、緊急時の駐車スペースもできました。新年度には、右側も工事していただく予定です。お知りおきください。

学校運営協議会情報

①3/3 (金) 19:00~20:00

学校運営協議会のメンバーは、民生児童委員・学識経験者・育っ子応援隊・自治会・老人クラブ連合会・体育振興会・PTA・くみ会の各代表8人で構成され、校長・教頭・学校職員の5人とともに、学校の運営方針にそって学習や生活の様子を検討し、出された意見を今後の学校の在り方に反映していくという協議会です

先日の協議会では、次のようなご意見をいただき、『地域とともに創る学校』という目標に確実に近づきつつあることを実感しました！

- ・子どもたちの挨拶が良くなり、私たち地域の者は元気をもらっている。登校の見守りや授業の支援を通して、子どもたちや先生たちとの関係性が深まったことによる効果である。
- ・私たちが学校支援に入るのは、先生たちの負担を減らしたいから。負担が減れば、先生たちは子どもたちにたくさんかかわることができる。先生自身の子どもさんへのかかわりも増える。子どもたちの学びや安心・喜びは、地域へ返ってくる！これが私たちの願い！

なんとうれしい言葉でしょう！

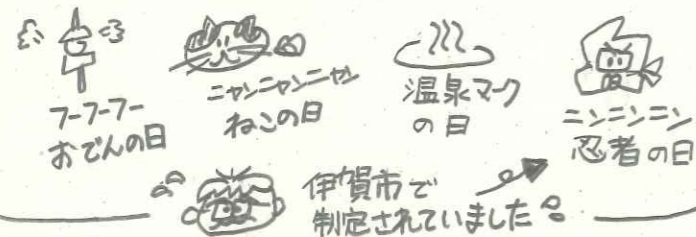
『子どもは地域の宝物』

地域は子どもの宝箱 & 学校の宝箱

②学校運営協議会の方々には、学校経営に共にかかわっていただいているメンバーとして、卒業式・入学式にご臨席いただきます。

【前号のクイズ『2月22日は何の日？』の答え】

おわび 正解は3つと表記していましたが、実は4つでした！ ごめんなさい！



まちがいさがし

卒業お祝いバージョン

『卒業おめでとうバージョンです。思い出を胸に 未来へ羽ばたいて下さい！』

ところが、毎度のことながら、コピー機の調子が悪く、思い出がへんてこりんになってしまっているではありませんか！ しかも8か所も！ 大至急直したいので、間違っているところを見つけてください。

